

大島町備蓄計画

平成 30 年 2 月
大島町

1	はじめに.....	1
2	基本的な考え方.....	1
3	備蓄対象・条件等.....	2
4	大島町災害備蓄品の現状.....	9
5	東京都寄託災害救助物資.....	11
6	購入計画.....	12
7	住民・事業所等における備蓄.....	13
8	備蓄倉庫.....	14

1 はじめに

平成 25 年 5 月に公表した東京都の「南海トラフ巨大地震等による東京の被害想定」によると、島しょ町村における津波による被害は、犠牲者が最大約 1,800 人と甚大な被害となるため、津波からの迅速な避難が必要である。また、大島町の最大震度はほぼ全域が 5 強で、一部に 6 弱程度と多くの建物が倒壊し、被災者が増える可能性も十分に想定される。

一方で、島しょ地域は離島という地理的状況にあるため、南海トラフ地震等による広域災害時には、本土から物資輸送などの支援を受けられず、島は地域住民の長期間孤立する恐れがある。

この計画においては、自助・共助・公助の考え方を基本とし、日頃からの家庭内備蓄、事業所等の備蓄、東京都等関係機関からの救援を考慮し、住民、事業者、行政が連携、協力して長期間の孤立に備え、備蓄計画を策定する。

なお、本計画は新たな課題等が生じた場合には、大島町地域防災計画、関係計画等と整合をはかりながら修正するものとする。

2 基本的考え方

大島町地域防災計画（平成 28 年度修正）では「町民の責務」として「自らの身の安全は自らが守る」という自助の考えを防災の基本とし、食料、飲料水及び生活必需品等を住民が備蓄しておく「家庭内備蓄」や、事業所による「防災資器材や水、食料等非常用品の備蓄」が必要である。

津波による孤立を考えると、発災後各家庭の備蓄を含めて 7 日間の物資確保が必要と想定されるので、住民や、事業所で 4 日分、町では 3 日分の水や食料と生活必需品を、災害想定による最大の避難者数を基準とした分散備蓄に努める。また、医薬品・医療資器材、防疫用資器材、災害応急対策に必要な資器材についても確保ができるよう、あらかじめ物資の備蓄・調達計画を整備するよう取り組むものとする。

3 備蓄対象・条件等

(1) 備蓄物資の対象者

(ア) 年齢区分

避難所収容者及び滞留旅客を想定し、次の人数を備蓄対象とする。

種別	対象人数	理由等
住民	4,600人	津波浸水想定区域又は土砂災害警戒区域に含まれる人口
観光客	1,200人	宿泊定数(約2,500人)の約5割(平成28年度)
合計	5,800人	

※比率は平成30年1月末の大島町人口数で算定。

(2) 備蓄目標日数

大島町地域防災計画(平成28年度修正)第1編「震災対策編」第3部「災害応急・復旧対策計画」第7章「水・食料・物資・輸送対策」のとおり3日分の食料を備蓄するよう努める。

(3) 備蓄品目

災害発生時に家屋の全壊や焼失により避難した住民や、帰宅困難となった観光客に、流通の復旧や支援物資が到達するまでに必要な食料、生活必需品や簡易トイレなどを選定する。

① 食料(主食)

災害時に速やかに食料の供給ができるよう必要品目を選定する。

(ア) 一般向けの食料

長期保可能なアルファ化米や、応急的な食事となるビスケットやクラッカー

(イ) 災害時要援護者等を考慮した食料

乳児や乳幼児を考慮した調整粉乳や離乳食、乳幼児や高齢者などを考慮したおかゆ(アルファ化米)

② 飲料水・調理用水(ペットボトル)

災害時に速やかに供給の出来る、長期保存可能な飲料水・調理用水を選定する。

③ 生活必需品

災害時に日常欠くことのできない生活必需品を選定する。

(ア) 哺乳瓶、哺乳瓶代用品

哺乳瓶や離乳食用の耐熱性紙コップ・スプーン

(イ) 毛布、安眠マット、カーペット

避難所等での保温用資材、寝具

(ウ) 生理用品、紙おむつ、おしりふき

女性用の生理用品、紙おむつ（乳幼児用・大人用）、交換時のおしりふき

(エ) トイレトペーパー、尿とりパット

トイレ使用時毎に利用

④ 避難所のトイレが使用できない場合の資器材

災害時に断水した場合、簡易トイレとして使用できるものを選定する。

⑤ 防疫用資器材

災害時に避難所等で使用する必要品目を選定する。

(ア) 避難所の感染症対策用

使い捨てマスク（大人用、子ども用）、使い捨て手袋（ビニール製）、バケツ（20ℓ蓋付）、ビニール袋、次亜塩素酸ナトリウム液（塩素濃度200ppm）

(イ) トイレ使用後の手洗い

石鹼（ハンドソープ）、手指消毒薬品（擦りこみ式エタノール剤）、ウェットティッシュ、ペーパータオル

(ウ) 避難所のゴミ処理対策

ゴミ袋70ℓ（可燃、資源）

(エ) 避難所の害虫対策

防虫ネット（出入口用）、害虫忌避剤（蚊取り剤）、殺虫剤（スプレー剤）

⑥ 医薬品・医療資器材

災害時の怪我人等に対応する必要品目を検討し選定する。

⑦ 災害応急対策資器材

災害発生後等に行う応急対策に必要な資器材を検討し選定する。

⑧ その他の資器材

災害時に必要となる品目を選定する。

普段より施設に設置されているものはそれを利用する。

(ア) 避難所運営用資器材

避難所を運営する場合の最低限の資器材

a. 自家発電設備を備えていない避難所

発電機、ガソリン缶

b. 発電機、非常用電源からの送電

コードリール

c. 情報伝達手段の確保

テレビ

d. 暖房器具

ストーブ・ジェットヒーター等

e. 調理室を設置していない避難所

炊出し釜セット

(4) 備蓄目標数量

備蓄品目ごとの目標数量を設定する。(対象者は平成 30 年 1 月末現在の人口比率より算出)

①食料、飲料水、生活必需品

(ア) 備蓄目標数量の算出基準

品 目	対象者 (比率)	単位数	備 考
食料	全て (98%)	3 食/人・日	2 歳以下を除く (2%)
調整粉乳	0 歳 (0.5%)	130g/人・日	(1%)の 2 人に 1 人
	1 歳~2 歳 (0.5%)	70g/人・日	(1%)の 2 人に 1 人
離乳食	0 歳 (0.5%)	50g/人・日	(1%)の 2 人に 1 人
	1 歳~2 歳 (0.25%)	100g/人・日	(1%)の 4 人に 1 人
飲料水	全て (100%)	3ℓ/人・日	調整粉乳と調理用含む
哺乳瓶	調整粉乳利用者分	5 回/人・日	使い捨て
耐熱性紙コップ・スプーン	離乳食利用者	3 回/人・日	使い捨て
毛布	全て (100%)	2 枚/人	
安眠マット・カーペット	全て (100%)	1 枚/人	
生理用品	12 歳~51 歳女性(17%)	8 枚/人・日	4 人に 1 人
乳幼児用紙おむつ	3 歳以下 (3%)	8 枚/人・日	
大人用紙おむつ	要介護者 (5%)	8 枚/人・日	要介護度 1 以上 2 人に 1 人
乳幼児用紙おしりふき	3 歳以下 (3%)	80 枚	
大人用紙おしりふき	要介護者 (5%)	8 枚/人・回	紙おむつ利用者分
尿とりパッド	要介護者 (5%)	8 枚/人・日	要介護度 1 以上
トイレトペーパー	全て (92%)	9m/人・日	おむつ利用者除く

(イ) 備蓄目標数量

品目	算定式	目標数量 (備蓄数量)
食料	5,800人×98%×3食×3日÷ 主食、簡易食料、おかゆ (都寄託食料含む)	51,200食 (31,700食) ※10,000食(0g)
調整粉乳	0歳(0～11ヵ月) 5,800人×0.5%×10本×13g×3日	11,310g (9000g) ※2,400g(0g)
	1～2歳 5,800人×0.5%×5本×14g×3日	6,090g (上記に含む)
離乳食	0歳(6～11ヵ月) (5,800人×1%)÷2×5本×10g×3日	4,350g (0g)
	1～2歳 (5,800人×1%)÷4×10本×10g×3日	4,350g (0g)
飲料水	5,800人×3ℓ×3日	52,200ℓ (34,740ℓ)
哺乳瓶	5,800人×100%÷2×5回×3日	435本 ※1(1,050本)
耐熱性紙コップ・ スプーン	5,800人×1%÷2×3回×3日	261組 (0組)
毛布	5,800人×2枚	11,600枚 (13,317枚)
安眠マット・カーペ ット	5,800人×1枚	5,800枚 (安2,394+カ4,140枚)
生理用品	5,800人×17%÷4×8枚×3日	5,916枚 (13,634枚)
乳幼児用紙おむつ	5,800人×3%×8枚×3日	4,176枚 (4,824枚)
大人用紙おむつ	5,800人×5%÷2×8枚×3日	3,480枚 (0枚)
乳幼児用おしりふき	5,800人×3%×80枚(1個)	174個 (405個)
大人用おしりふき	3,480枚×8枚÷60枚(1個)	464個 (0個)

尿とりパッド	$5,800 \text{ 人} \times 5\% \times 8 \text{ 枚} \times 3 \text{ 日}$	6,960 枚 (2,508 枚)
トイレトペーパー	$5,800 \text{ 人} \times 92\% \times 9\text{m} \times 3 \text{ 日} \div 60\text{m}$	2,401 個 (2,448 個)

() 内は平成 30 年 2 月末現在の備蓄数量 ※は内アレルギー対応分

※1 哺乳瓶は使い捨てタイプではないため消毒等が必要となる。

②簡易トイレ

(ア) 備蓄目標数量の算出基準

品 目	対象者 (比率)	単位数	備 考
簡易トイレ	4 歳以上 (92%)	5 枚/人・日	紙おむつ利用者除く

(イ) 備蓄目標数量

品 目	算 定 式	目標数量 (備蓄数量)
簡易トイレ	$5,800 \text{ 人} \times 92\% \times 5 \text{ 枚} \times 3 \text{ 日}$	80,040 枚 (0 枚)

() 内は平成 30 年 2 月末現在の備蓄数量

③ 防疫用資器材

(ア) 備蓄目標数量の算出基準

品 目	対象 (比率)	単位数	備 考
使い捨てマスク	全て (100%)	2 枚/人・日	
使い捨て手袋 (ビニール製)	避難所	20 組・日	
バケツ (20ℓ蓋付)	避難所	2 個	
ビニール袋	全て (100%)	1 枚/人日	
次亜塩素酸ナトリウム液 (塩素濃度 200ppm)	避難所	2ℓ/日	
石鹸 (ハンドソープ)	全て (100%)	0.15ℓ/人・日	
手指消毒薬品 (擦りこみ式 エタノール剤)	全て (100%)	0.15ℓ/人・日	
ウェットティッシュ	全て (100%)	5 枚/人・日	
ペーパータオル	全て (100%)	5 枚/人・日	
ゴミ袋 70ℓ (可燃・資源)	避難所	20 枚/日	
防虫ネット (出入口用)	避難所	4 枚/日	
害虫忌避剤 (蚊取り剤)	避難所	10 個/日	

殺虫剤（スプレー剤）	避難所	2本／施設	
------------	-----	-------	--

(イ) 備蓄目標数量

品 目	算 定 式	目標数量 (備蓄数量)
使い捨てマスク	5,800人×2枚×3日	34,800枚 (7,990枚)
使い捨て手袋（ビニール）	25施設×2枚×20組×3日	3,000枚 (4,700枚)
バケツ（200蓋付）	25施設×2個	50個 (バケツ小11個)
ビニール袋	5,800人×100%×1枚×3日	17,400枚 (300枚)
次亜塩素酸ナトリウム液 (塩素濃度200ppm)	25施設×20×3日	150個 (0個)
石鹼（ハンドソープ）	5,800人×100%×5回×3日×0.030÷0.50	5,220個 (0個)
手指消毒薬品（擦りこみ式 エタノール剤）	5,800人×100%×5回×3日×0.030÷10	2,610個 (5個)
ウェットティッシュ	5,800人×100%×5枚×3日÷100枚（1個）	870個 (1,565個)
ペーパータオル	5,800人×100%×5枚×3日÷200枚（1個）	435個 (0個)
ごみ袋700（可燃・資源）	10枚×2種×3日×25施設	1,500枚 (0枚)
防虫ネット（出入口用）	4枚×25施設	100枚 (0枚)
害虫忌避剤（蚊取り剤）	10個×3日×25施設	750個 (0個)
殺虫剤（スプレー剤）	2本×25施設	50本 (0本)

()内は平成30年2月末現在の備蓄数量

④ 避難所運営用資器材

(ア) 備蓄目標数量の算出基準

品目	対象(比率)	単位数	備考
発電機	避難所	1台	自家発電設備を備えていない避難所
ガソリン缶	避難所	1個	自家発電設備を備えていない避難所
コードリール	避難所	1本	
テレビ	避難所	1台	テレビの設置されていない施設
暖房器具	避難所	1部屋	暖房器具を備えていない体育館等 (ストーブ・ジェットヒーター等)
炊出し釜セット	避難所	1台	調理室を設置していない避難所

(イ) 備蓄目標数量

品目	算定式	目標数量 (備蓄数量)
発電機	21施設×1台	21台 (25台)
ガソリン缶	21施設×1缶	21缶 (8缶)
コードリール	12施設×2本	24本 (0本)
テレビ	8施設×1台	8台 (3台)
暖房器具	15施設×1台	15台 (38台)
炊出し釜セット	4施設×1組	4台 (4台)

()内は平成30年2月末現在の備蓄数量

普段より施設等で利用しているものがあればそれを利用する。

4 大島町災害備蓄品の現状

○防災備蓄品一覧（平成30年2月末日現在）

品目	泉津	岡田	北の山	元町	野増	間伏	差木地	クダツチ	波浮港	合計	単位
アルファ化米	1,550	6,400	0	7,500	0	0	6,550	0	0	22,000	食
ウェットティッシュ	314	255	0	364	8	0	574	0	50	1,565	
おかゆ	1,000	1,000	0	1,500	0	0	500	0	0	4,000	食
おしりふき	288	100	0	0	17	0	0	0	0	405	
お玉	15	14	0	0	0	0	0	0	0	29	
お椀		200	0	0	0	0	0	0	0	200	
カーペット	2,000	710	60	130	105	60	815	60	200	4,140	
カセットコンロ	0	0	0	0	14	0	0	0	0	14	
ガソリン缶	0	1	2	0	1	0	2	0	2	8	
かま	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
かまどセット	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
キッチンタオル	240	0	0	0	0	0	288	0	0	528	
クラッカー	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
粉ミルク	0	0	0	9	0	0	0	0	0	9	kg
ござ	142	0	0	39	4	0	300	0	0	485	
コンタクトレンズ洗 浄液		24	0	0	0	0	0	0	0	24	
ジェットヒーター	4	4	4	2	0	0	6	0	4	24	
ステンレスマグ	524	500	0	0	0	0	800	0	0	1,824	
たたみ	52	0	0	0	0	0	0	0	0	52	
ダンボールベッド	24	0	0	0	0	0	0	0	0	24	
ティッシュペーパー	768	12	0	0	0	0	580	0	50	1,410	
テント	5	2	0	0	0	0	0	0	0	7	
トイレットペーパー	576	384	96	672	48	0	576	0	96	2,448	
バケツ 小	11	0	0	0	0	0	0	0	0	11	
バスタオル	150	0	0	0	20	0	350	0	0	520	
ハンドジェル	30	0	0	0	0	0	1	0	0	31	
ビスケット	600	0	0	1,200	0	0	600	0	0	2,400	食
ビニールカップ	0	0	0	0	8	0	0	0	0	8	
ビニール手袋	0	0	0	0	7	0	40	0	0	47	

品目	泉津	岡田	北の山	元町	野増	間伏	差木地	クダツチ	波浮港	合計	単位
ビニール袋手提げタイプ	0	0	0	0	300		0		0	300	
フードボール	960	200	100	0	200	0	540	0	0	2,000	
フェイスタオル	300	0	0	0	30	0	380	0	0	710	
ブルーシート	0	0	0	0	3	0	0	0	10	13	
ペーパーカップ	6,000	0	0	0	150	0	4,000	0	0	10,150	
ペーパープレート	1,800	0	2,520	0	144	0	1,800	0	0	6,264	
ベビーローション	0	40	0	0		0	0	0	0	40	
ヘルメット	387	0	0	0	101	0	0	0	0	488	
ポリタンク	7	2	0	0		0	8	0	0	17	
ポリバケツ	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	
ボンベ	0	0	0	0	23	0	0	0	0	23	
マスク	2,640	0	0	4,400	0	0	950	0	0	7,990	
メガホン	200	0	0	0		0	0	0	0	200	
やかん	9	0	0	0		0	0	0	0	9	
ランタン	12	0	0	0		0	0	0	0	12	
安眠セット・マット	965	467	261	70	50	0	150	0	0	1,963	
飲料水	5,340	13,380		7,692		0	8,328	0		34,740	ℓ
懐中電灯	50	0	0	0		0	0	0	0	50	
割り箸	600	990	1,200	0	360	0	2,160	50	0	5,360	
脚立	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
座布団	35	0	0	0	0	0	0	0	0	35	
雑巾	0	0	0	0	10	0	0	0	0	10	
三角巾	0	800	0	0	40	0	0	0	0	840	
子供用マスク	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
子供用歯ブラシ	0	0	0	0	0	0	84	0	0	84	
紙おむつ(乳幼児)	1,272	1,000	0	0	0	0	2,552	0	0	4,824	
歯ブラシ	0	0	0	0	0	0	288	0	0	288	
持ち出し袋	121	0	0	0	0	0	0	0	0	121	
車いす	8	3	3	3	3	0	0	0	0	20	
消毒液	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5	
炊飯器	3	5	0	0	0	0	4	0	0	12	
生理用品	5,146	0	0	0	0	0	8,488	0	0	13,634	
石油ストーブ	14	0	0	0	0	0	0	0	0	14	

品目	泉津	岡田	北の山	元町	野増	間伏	差木地	クダツ	波浮港	合計	単位
折りたたみベッド	16	15	10	20	0	0	10	0	10	81	
台車	2	1	0	1	0	0	1	0	0	5	
大型扇風機	4	4	2	0	0	0	0	0	0	10	
担架	5	18	0	0	0	0	0	0	0	23	
炭	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
電気ポット	3	6	3	0	0	0	2	0	0	14	
土のう袋	0	0	0	0	550	0	0	0	0	550	
投光器型発電機	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	
灯油用ポリタンク	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
灯油用ポンプ	10	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
尿とりパット	2,508	0	0	0	0	0	0	0	0	2,508	
発電機	2	2	2	4	2	0	9	2	2	25	
敷布団	48	0	0	0	0	0	0	0	0	48	
防災頭巾	438	480	0	0	50	0	1,750	0	0	2,718	
枕	0	120	0	0	0	0	0	0	0	120	
毛布	5,940	2,130	360	1,380	107	0	3,280	40	80	13,317	
哺乳ビン	840	40	0	30	0	0	140	0	0	1,050	

5 東京都寄託災害救助物資

大島町では、東京都の政策と方向性が合致し、福祉保健局が備蓄している物資を寄託している。

品目	数量	保存期限（食料のみ）
アルファ化米（白米）	300 食	平成 30 年 12 月
アルファ化米（五目ご飯）	3,000 食	平成 33 年 2 月
カーペット（20 枚入り）	2,820 枚	
毛布	2,260 枚	

6 購入計画

備蓄目標量を確保するため、現有量及び消費期限を考慮しつつ、計画的に備蓄品の整備を図る。また、必要に応じて緊急に食料を調達できる体制を整えておき、食料の確保と生活の安定に期すよう努める。

また、町は、災害により住家に被害を受けた被災者に対し、日常欠くことのできない被服、寝具その他の生活必需品（以下「生活必需品等」という。）の給与等が速やかにできるよう平常時から、必要な生活必需品等の計画的備蓄に努めるものとする。

(1) 食料

主食、簡易食料は保存期限5年以上のもの、調整粉乳、離乳食は1年以上の賞味期限を有するものを目標量に向けて計画的に購入。賞味期限が1年を切った食料については、防災訓練や防災教育の一環として活用する。なお、廃棄処分を極力発生させないため、状況に応じ住民配布を行うなど有効活用する。

(2) 飲料水

保存期限5年以上のものを目標量に向けて計画的に購入。賞味期限が1年を切ったものについては、防災訓練や防災教育の一環として活用する。なお、廃棄処分を極力発生させないため、状況に応じ住民配布を行うなど有効活用する。

(3) 生活必需品

目標量に向けて計画的に購入。保存期限が1年を切ったものについては、防災訓練や防災教育の一環として活用する。なお、廃棄処分を極力発生させないため、状況に応じ住民配布を行うなど有効活用する。

また、町は、備蓄、調達、応援要請によって、生活必需品等が不足する場合は、必要な物資を広く募集し、受入れ対象は、原則として企業や団体からの大口のものとする。なお、物資が充足した時点で、募集を打ち切り、その旨を広報する。

(4) 簡易トイレ

災害発生時に断水した場合に使用する簡易トイレの目標量の確保に努める。

(5) 防疫資器材

避難所生活において必要品目を選定し目標量の確保に努める。

(6) 医薬品・医療資器材

災害発生時に必要な品目を選定し必要量の確保に努める。

(7) 災害応急対策資器材

災害発生時の応急対策に必要な品目を選定し必要量の確保に努める。

(8) その他の資器材

避難所運営に必要な品目を選定し目標要量の確保に努める。

7 住民・事業所等における備蓄

大島町の「公助」では、3日分の備蓄を進めていますが、災害が発生し、孤立した場合は不足する可能性が出てくる場合もあります。町では、自分の身は自分で守る「自助」と共に助け合って守る「共助」を推奨し、住民・事業所等にも4日分の備蓄を呼びかけていく。

(1) 非常用持ち出し袋

避難した際、自宅で生活することができず避難所暮らしになる場合、必要となる最小限の品を納めた袋が非常用持ち出し袋です。非常用持ち出し袋の中身は、それぞれ自分や家族にとって必要な物を考え、準備することが重要です。それらをリュックなどに入れ、玄関の近くや寝室、車の中、物置などに配置しておけば、「いざ」家の倒壊などというときに持ち出すことができます。

懐中電灯	予備電池を含む。携帯電話バッテリーと兼ねているものなど
携帯ラジオ	予備電池も含む。(手動の電動機付きのものなど)
救急医薬品	持病薬、健康手帳・薬局記載、バンソウコウ、マスク、風邪薬、傷薬、鎮痛剤など
非常食	カンパン、缶詰、ミネラルウォーター、アレルギー対応食品など
簡易食器	簡易食器類、紙コップ、紙皿、ウエットティッシュ、ラップ、万能ナイフ、缶切り、水筒など
貴重品類	現金、通帳、印鑑、免許証、権利証書など
衣類・タオル	下着・上着、靴下、タオルなど
生活・便利用品	カップ、ヘルメット(防災頭巾)、笛・ブザー(音を出して居場所を知らせる)、携帯電話充電器、ライター、軍手、簡易トイレ、コンタクトレンズ洗浄液、カイロなど
その他	粉ミルク、離乳食、哺乳瓶、オムツ(乳幼児・高齢者用)、生理用品、その他自分の生活に欠かせないもの
情報収集用品	家族写真、緊急時家族・親戚・知人の連絡先一覧など(携帯電話は電池がなくなる可能性もある)

(2) 日常備蓄

島しょ地域は離島という地理的状況にあるため、孤立する可能性と、自宅が倒壊した被災者以外でも、備蓄に頼る現状が出てくることを想定し、住民に対し日常備蓄を推進する。なお備蓄の方法は、普段使っているものを常に少し多めにそなえ、消費しながら備蓄をしていく家庭内循環備蓄（ローリングストック）を推進する。

(3) 事業所及び施設等における備蓄

多数の人が出入りする商業施設や事業所、また、医療施設、老人ホーム、保育園等の施設においては、その社会的責務に基づき、災害の防止及び軽減を図る必要があるため、防災資器材や非常用品、3日分を目安に水、食料等の備蓄を推進する。

8 備蓄倉庫

大島町では、防災備蓄庫を4箇所整備している。ただし、災害の種類によっては、避難所までの輸送が必要になり、道路が寸断された場合は、物資が避難所まで届かない状況に陥る可能性がある。そのため、備蓄規模が多くなることから、避難所となる体育館や教室等の空きスペースを利用して分散備蓄に努め、今後新たな備蓄倉庫の建設も検討する。

名称	住所	床面積	設置年度
大島町泉津備蓄庫	泉津字川の原 15	150 m ²	昭和 62 年度
大島町岡田備蓄庫	岡田字長坂 113	150 m ²	昭和 62 年度
大島町差木地備蓄庫	差木地 2 番地	150 m ²	昭和 62 年度
伊豆大島火山博物館 (備蓄倉庫)	元町字神田屋敷 617	64.03 m ²	平成 2 年度

大島町備蓄計画

平成 30 年 2 月 28 日 策定

編集発行 大島町防災対策室

大島町元町 1 丁目 1 番 1 4 号

電話 0 4 9 9 2 - 2 - 0 0 3 5

FAX 0 4 9 9 2 - 2 - 1 3 7 1